

平成27年度 硬式テニス部

【部員】

男子

- <3年生> 濱口凌也（五十鈴）小川太暉（鎌田）津田盛秀、溝口統太、北井勇人（文岡）山本翔平（磯部）
倉野駿介（城田）
- <2年生> 城山昇大（大王）濱崎太貴（北浜）岩上哲也（五十鈴）雲井寅成（小俣）
小寺勇一、中川侑紀（厚生）古田将也（港）倉井大輔（城田）
- <1年生> 武市 颯、森 大輔（小俣）谷川原徹志（文岡）谷水竜都（安乗）榎本和晃（松阪西）
関 康佑（倉田山）松田寛大、見置峻也（玉城）

女子

- <3年生> 三好美希、戸田奈摘（小俣）澤田華穂（片田）山川華子（南島）喜田夏帆（船越）
清水亜莉沙（鳥羽東）松村和奏、北村美奈（港）高橋楽々、谷川原千晴（文岡）
- <2年生> 伊藤 舞（小俣）三宅璃緒（北浜）濱口桃佳（和具）楠木愛香（長岡）
藤原さくら（豊浜）大橋加奈（御園）本村理紗（港）小林和佳、堤 彩香（城田）
古尾伊澄（厚生）
- <1年生> 石井琴音、大黒双葉（文岡）喜田陽月、福井悠（大王）竹内優来、土屋鈴歩（北浜）
中西夢佳（玉城）山口真由（倉田山）上村綾菜（五十鈴）

【顧問】

吉田智成（数学）、児玉靖明（英語）、中野亜優（英語）、佐波彩香（理科）

【活動実績】

男子

○ 高校総体

男子団体戦

ベスト16

- 1回戦 対 伊勢高校 3-0勝利
2回戦 対 高田高校 2-1勝利
3回戦 対 松阪工業高校 1-2敗退

○ 高校選手権

男子団体戦

- 1回戦 対 海星高校 0-2敗退

男子シングルス（1，2年生の部）

ベスト64 城山昇大

○ 新人戦

男子団体戦

- 1回戦 対 桑名高校 1-4敗退

男子シングルス

ベスト64 中川侑紀

女子

○ 高校総体

女子団体戦	4位入賞
2回戦 対 松阪高校	3－0勝利
3回戦 対 津西高校	3－0勝利
4回戦 対 津高校	2－1勝利
準決勝 対 津商業高校	0－3敗退
3位決定戦 対 鈴鹿高校	0－2敗退

女子シングルス

ベスト32 山川華子、北村美奈

女子ダブルス

ベスト16 戸田・清水組

○ 高校選手権

女子団体戦	6位入賞
2回戦 対 名張西高校	2－0勝利
3回戦 対 セントヨゼフ	2－0勝利
4回戦 対 四日市高校	0－2敗退
5～8位決定戦 対 津西高校	2－0勝利
5, 6位決定戦 対 桑名西高校	1－2敗退

女子シングルス（1, 2年生の部）

ベスト64 三宅璃緒、石井琴音、本村理紗

女子シングルス（3年生の部）

4位 北村美奈 5位 山川華子 7位 澤田華穂

○ 新人戦

女子団体戦	5位入賞
2回戦 対 津高校	4－1勝利
3回戦 対 相可高校	5－0勝利
4回戦 対 津商業高校	0－3敗退
5～8位決定戦 対 津西高校	3－0勝利
5, 6位決定戦 対 桑名西高校	3－1勝利

女子シングルス

ベスト32 三宅璃緒

女子ダブルス

ベスト16 三宅・堤組 古尾・小林組

ベスト32 藤原・楠木組 伊藤・濱口組

～各大会・思い出のヒトコマ～

◎ 高校総体(5月)



◎ 合宿



◎ 高校選手権 (8月)



◎ 卒業式



◎ あれこれ



【概要】

新しく児玉先生を迎え、男子3年生7人、2年生8名、1年生8名、女子3年生10人、2年生10名、1年生9名と50人を超える人数で6面あるコートも狭く感じるほど、日々活発に活動しています。

男子は目標である団体戦ベスト8を、今年も達成することは出来ませんでした。しかし高校総体ではあと一歩まで、選手権、新人戦も初戦からシード校との対戦となりましたが、着実にシード校との力の差を埋めてきているという手ごたえを感じました。それぞれの団体戦で悔しさとともに、チーム一丸の戦いで達成感を得ることが出来ました。

女子は高校総体で念願のベスト4を果たし、初心者から始めた生徒たちが、努力の成果で勝ち取った4位は本当に胸を張れる結果だと思います。約30人が仲間の1勝のために日々努力を続けられた毎日が、何よりもかけがえのない時間だったと胸に刻むことが出来た大会となりました。

3年生が夏の大会までエントリリーしてくれ、3年生シングルス部では、キャプテンの北村美奈が強豪校の中、シングルス4位という快挙を成し遂げてくれました。2年生も加わり戦った団体戦では、5、6位決定戦でダブルス、シングルス①を終わった時点で1-1の状況の中、シングルス②に出場した戸田奈摘が、灼熱の中熱戦を繰り広げ、最後には立っていることすらままならない状態で、気持ちだけで戦ってくれました。最後には顧問判断で試合を止めるほどの死闘となり6位に終わりました。テニスの厳しさ、仲間とともに戦う団体戦の素晴らしさが集約された時間でした。本当にすべてを出し尽くし、晴れやかな表情で3年生は引退をしていきました。

2年生中心となる新人戦では、魂を受け継いだ2年生が、決して技術的には高いチームではありませんでしたが、すべての試合で全身全霊をかける気持ちの表れたプレーを重ね、夏よりも1つ順位を上げ5位入賞を果たしました。団体戦を重ねるたびに、生徒の絆が深く結ばれる1年となりました。

男女それぞれに大きな成長を遂げ、3年生は今後の人生において、支えとなる宝物を手に取り卒業していきました。残された在校生も、男子は悔しさをばねに、女子は強い団結力を持って、来年こそはと熱い思いを抱き、28年度に向けて頑張っていきたいと思います。